

2017年度 湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

the 3rd Annual Conference on MetaSUB への参加とポスター発表

慶應義塾大学 環境情報学部 3年 学籍番号 71540892

伊藤光平

1. 活動日程・会場

活動日程：2017年7月18日～2017年7月20日

会場：Stockholm University

2. 活動の目的

MetaSUBとは、公共交通機関などの都市環境に存在する微生物叢（全ての微生物の集合体）を明らかにし、微生物の多様性や感染予防の観点から都市デザインを考えなおし、健康に良い都市環境を構築することを目的としているプロジェクトであり、米コーネル大学医学部のクリストファー・メイソンのPathoMAPプロジェクトが前身となったプロジェクトである。本プロジェクトのストックホルムで行われた第3回ミーティングである「the 3rd Annual Conference on MetaSUB」に参加し、ポスター発表を行い、都市環境における微生物叢へのさらなる知見を得ることを目的とした。

3. 研究の概要

東京大学駒場キャンパス・慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス、三田キャンパスの3キャンパスから90サンプルを採取し、そのうちの30サンプルを16S rRNA アンプリコンシーケンスにより解析した。その結果、サンプリングの男女差、建物間、大学間、サンプリング表面によって細菌叢は変化しないことが明らかになった。また、*Propionibacterium*, *Friedmaniella*, *Burkholdelia* の3属が優性的にサンプルに存在していることが明らかになった。

4. 活動の成果

7月17日にストックホルムに前日入りし、18日と19日は口頭発表、パネルディスカッション、参加者とのコミュニケーションをとり、多くの都市環境微生物

物に対する知見を得た。最終日である 20 日にはポスター発表を行い，多くの
人に有益なアドバイス・コメントをいただくことができた。今後の自分の
行うべき実験を明確にイメージすることができた。この学会で得られた成果を
今後自分の解析で生かしていき，年内には論文投稿につなげていきたい。

